

新吉中学校における「学び合いのある授業」に向けての重点項目の具体例

1 コミュニケーションの条件、スキルについて

(1) 学習集団の雰囲気づくり

- ・互いの話を聴き合う空気になっているか。
- ・互いの思い、意見、立場を尊重し合う空気になっているか。
- ・自分の思い、疑問、意見を主張する習慣になっているか。

(2) 話し合う習慣とスキル

- ・自分の考えは言葉にして伝えようとする習慣がついているか。
- ・伝える相手に聞こえる声の大きさと言葉の明瞭さになっているか。
- ・伝える相手に体を向けたり、表情を見せたりしているか。
- ・聴くときは話し手に体を向けたり、表情を見せたりしているか。
- ・ネガティブな発言、行動をしていないか。

(3) 他者との関わりかた

- ・分からないとき、できないときには尋ねているか。
- ・尋ねられたら、親切に答えているか。

2 学び合いの成立について

(1) 本時における学びの設定

- ・この授業では「わかる」喜びをめざすのか「できる」喜びをめざすのかを教師が意識しているか。
- ・子どもの立場でその学習活動の意味を考えているか。
- ・「わかる」ために意見交換する活動になっているか。
- ・「できる」ために教えてもらう活動になっているか。

(2) 具体的な学び合いの内容

- ・学び合い活動の具体的な内容を示しているか。
「説明できるようにしてみよう」「答え方を考えよう」「意見をまとめてみよう」など

(3) 教師と学習集団の対話とその時の学び

- ・教師が発問し、生徒が答えるとき、発言していない生徒は、自己との対話につながっているか。
- ・教師の発話が、教師の都合どおりに授業をすすめようとするものになっていないか。
- ・集団の学び合いになるように、子どもの思考をつなぐやりとりになっているか。

(4) グループの話し合い場面での個々の学び

- ・他者との対話により自己との対話がすすんでいるか。
- ・話していないときは、対象との対話をしているのか、他の生徒の対話を聞いているのかを見取っているか。

3 授業展開, 手法について

(1) 学び合いの内容と時間

- ・全体, ペア, グループ学習は何のためにやるのか。

(2) 学習活動の意図 (音読, ゲーム, …)

- ・その活動がどんな学び合いをしたいのか。
- ・その活動でどうなったら学びが成立したことになるのか。

(3) 授業に学び合いの場面を設定しようとする意識とアイデア

- ・話し合いたいと思える題材か。
- ・学び合うための道具 (既習内容, 教具, 環境) を用意してあるか。

4 教師の意識, 力量について

(1) 授業がどう進むかではなく, 子どもがどう学んでいるかという視点

- ・授業場面で発言する生徒だけに注目していないか。
- ・生徒の表情を見ながら発問, 発話しているか。

(2) 「教えたい」から「学ばせたい」へ

- ・子どもが説明したことのリボイスが多すぎないか。
- ・教師自身がうまく説明することばかり考えていないか。
- ・教師の説明が必要な場面を見極めているか。

(3) 学びのチャンスを活かす

- ・生徒が質問したことにすぐに答えずに, 他の生徒につないでやっているか。
- ・教師と生徒が対一でやりとりする場面が多すぎないか。

(4) 学ぶ場としての空気作り

- ・落ち着いた, しっとりとした雰囲気をつくっているか。
- ・無駄にテンションの高い声で話していないか。

(5) 事実から学んで実践する意識

- ・これまでの研修での学びを生かしていこうとしているか。